

第4学年 <sup>しぜん</sup>自然の中の水

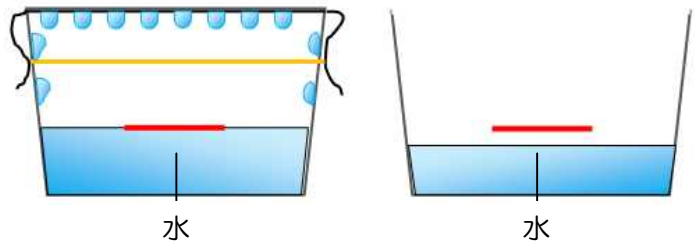
組 番 氏名

- 1 2つの入れものに同じ量の水を入れ、1つの入れものにはラップフィルムをかぶせておきました。2～3日後、入れものようすを調べて、右のように記録しました。

けっか

ふたをした入れものでは、ほとんど水がへらなかつた。また、入れものの内がわには、水がたくさんついていた。ふたをしなかつた入れものでは、水がへっていた。

このけっかからわかったことをまとめた下の文の( )の中にあてはまる言葉を からえらんで書きましよう。 同じ言葉を何度使ってもよいです。



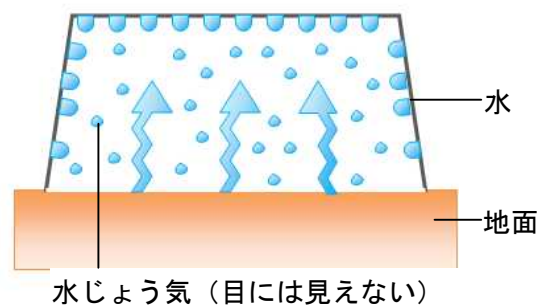
ふたをしなかつた入れものの中の水がへつたのは、水はねっしなくても、水面から( )して( )となって空気中に出ていったからである。ふたをした入れものの内がわに水がついたのは、( )した( )がふたたび、( )になったからである。

水 氷 水じょう気 じょう発 ふつとう

- 2 雨がふつたあとの天気の良い日に、とうめいな入れものを地面にふせておきました。しばらくおいたあと、入れものの中ようすを調べました。

しばらくおいておくと、入れものの内がわに水がつきました。どうしてそうなるのか、考えをまとめるために右のような図をかきました。

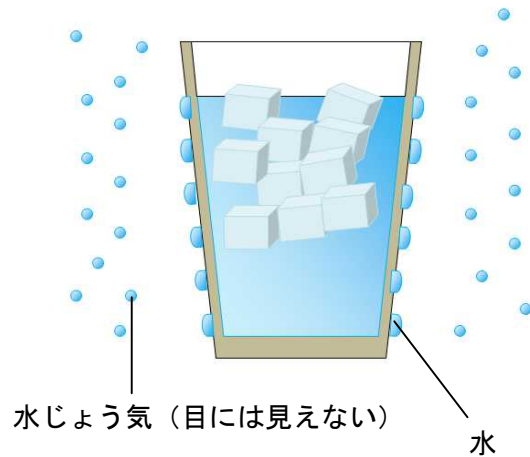
図を見ながら、入れものの内がわに水がついた理由を書きましよう。



3 かわいたコップに氷水を入れ、コップの外がわのようすを調べました。

(1) しばらくおいておくと、コップの外がわに水がつきました。

コップの外がわの水は、どうしてつuitのかを、考えるために右のような図をかきました。図を見ながら、コップの外がわに水がついた理由を書きましょう。



(2) コップの外がわについた水と同じでき方をしたものをえらんで、( )に○を書きましょう。

- ①運動場でできた水たまり ( )
- ②雪がとけてできた水 ( )
- ③ふる場のかがみのくもり ( )

4 ほしておいたせんたくものが、かわく理由をせつ明しましょう。

第4学年 <sup>しぜん</sup>自然の中の水（解答）

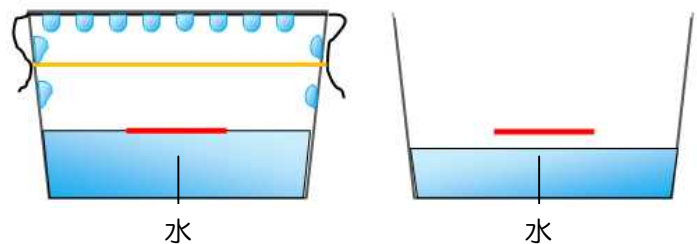
組 番 氏名

- 1 2つの入れものに同じ量の水を入れ、1つの入れものにはラップフィルムをかぶせておきました。2～3日後、入れもののようすを調べて、右のように記録しました。

けっか

ふたをした入れものでは、ほとんど水がへらなかつた。また、入れものの内がわには、水がたくさんついていた。ふたをしなかつた入れものでは、水がへっていた。

このけっかからわかったことをまとめた下の文の（ ）の中にあてはまる言葉をからえらんで書きましょう。同じ言葉を何度使ってもよいです。



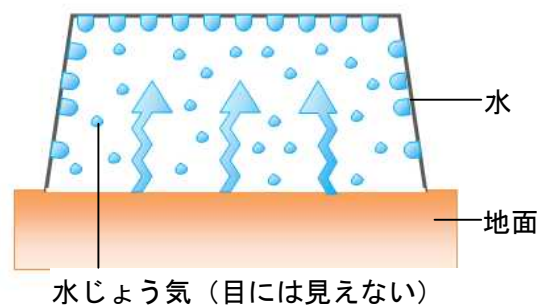
ふたをしなかつた入れものの中の水がへったのは、水はねっしなくても、水面から（ **じょう発** ）して（ **水じょう気** ）となって空気中に出ていったからである。ふたをした入れものの内がわに水がついたのは、（ **じょう発** ）した（ **水じょう気** ）がふたたび、（ **水** ）になったからである。

水 氷 水じょう気 じょう発 ふつとう

- 2 雨がふったあとの天気の良い日に、とうめいな入れものを地面にふせておきました。しばらくおいたあと、入れものの中ようすを調べました。

しばらくおいておくと、入れものの内がわに水がつきました。どうしてそうなるのか、考えをまとめるために右のような図をかきました。

図を見ながら、入れものの内がわに水がついた理由を書きましょう。



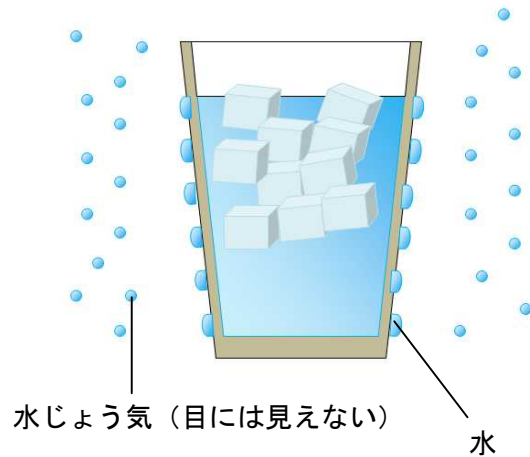
（例）内がわに水がついたのは、地面にしみこんだ水がじょう発して、水じょう気となり、水になったから。

※地面にしみこんだ水も、じょう発して空気中に出ていきます。

3 かわいたコップに氷水を入れ、コップの外がわのようすを調べました。

(1) しばらくおいておくと、コップの外がわに水がつきました。

コップの外がわの水は、どうしてついたのかを、考えるために右のような図をかきました。図を見ながらコップの外がわに水がついた理由を書きましょう。



(例) 空気中の水じょう気が氷水でひえたコップにひやされて水となり、コップについたから。

※空気中には、水じょう気がふくまれています。

(2) コップの外がわについた水と同じでき方をしたものをえらんで、( )に○を書きましょう。

- ①運動場でできた水たまり ( )
- ②雪がとけてできた水 ( )
- ③ふる場のかがみのくもり ( ○ )

4 ほしておいたせんたくものが、かわく理由をせつ明しましょう。

(例) ・せんたくものの水分が、じょう発するから。

・せんたくものにふくまれている水が、じょう発して、水じょう気として空気中に出ていくから。